



橋下維新政治を許さない共同広がる

9.23 市民のつどい

子どもたちの今と未来のために



保育所、幼く高の保護者 町会・地域が力を合わせ

教育・子育てを考
える大阪市民のつど
いが9月23日開か
れ、200人が参加
しました。主催は、
新婦人、保育・学童
保育の会、福保労、
大阪労連市地区協、
市労組、大阪市教で
つくる実行委員会。
基調講演で中山徹
奈良女子大学教授
は、子どもの貧困が
これほど問題になっ
ているのは、格差の
拡大(母子家庭の半
分が貧困層)と格差
の固定(学歴・所得
まで親から子どもに
伝わる)がこの20年
間に進んだためだと
指摘。正社員になれ
ないという雇用の変
化、一部大手企業と
富裕層への富の偏在
を是正することが、
日本経済と国民生
活、教育を再生する
ポイントであり、維
新の会がやるうとし
ているカジノ・万博
・リニア・なにわ筋
線では解決しないこ
とを説明しました。
予算を組み替えて子
育に支援、子どもの発
達をささえる「地域」
を育てていくなど、
大阪市の役割は大き
いと指摘しました。
リレートークで
は、元幼稚園PTA
役員が、わが子が市
立幼稚園で成長して
いったこと、ふれ、
公立幼稚園も私立幼
稚園もある中で選択
したいと話しまし
た。

発言する保護者ネ
ットワークの代表
は、ネットで自分の
意見を交流し、世論
をつくり、人とリア
ルにつながっていく
ことの大切さを話し
ました。

淀川区十三地域活
動協議会役員は、
「十三小学校は地域
の宝」のポスターを
つくり、廃校反対運
動を続けていること
を話しました。

旭区大宮第2保育
所の保護者は、民間
委託・民間移管で保
育士が替わることや
経験豊かな保育士が
減らされることによ
る保育の問題を指摘
しました。

子ども貧困アク
ショングループの代
表は、ワーキングプ
ア、負の連鎖(ネグ
レクトされた子ども



天王寺子育てネット
準備会11月7日

がシングルマザー
に、3世代生活保護
など)、生活保護の
水際作戦などをとり
あげ、親丸ごとサポ
ートしなければ救え
ない子どもたちの問
題を話しました。

フロアから、認可
外保育施設死亡事故
裁判問題や、廃校案
が出された咲洲高校
PTA役員からの発
言があり、大阪市立
デザイン教育研究所
(市立専修学校)に
進学を希望する工芸

高校2年生の感謝の
メッセージが保護者
から紹介され、参加
者を励ました。

**統一地方選で
維新政治を
終わらせる**

まとめでは、集い
て出された問題は、
来年4月の統一地方
選挙で維新政治を終
わらせることによっ
て解決することが多
いこと、教育と子育
てを考える市民が大
いに語り、共同を広
げることが重要、と
強調されました。

第23回 大阪市教 教研集会

記念
講演

ジャーナリスト

伊藤千尋さん

「今あらためて平和憲法を私たちの手に」

日時

10月25日(土)

12:00 お楽しみコーナー

12:30 分科会

低学年、高学年、中学校、

「お話の森へようこそ」、絵本、

スッキリ解決法律相談、

子どもの目線での支援の仕方(養教部)

15:00 記念講演

会場

エル・おおさか

天満橋駅西へ300m



9月19日、大阪市
会は、大阪市立特別
支援学校12校を大阪
府に移管する条例案
を可決しました。こ
れを受けて府議会で
は、府立学校として
設置するための条例
案が審議されます。
府への移管は、府市
統合本部会議で1月
に出されたもので、
学校関係者・保護者
には何の説明もなく
一方的にすすめられ

拙速

何の道理もない 府立高咲洲・池田北廃校案 市立特別支援府へ移管案

ました。特別支援学
校には府と市で明確
に役割分担があり、
二重行政にはあたら
ない、地域の中小学
校との連携を含め、
地域に根ざした学校
づくりこそ必要と、
拙速な移管を行わな
いことを求める請願
に取り組みされてい
ます。

大阪府教育委員会
は9月3日、咲洲高
校(住之江区)、池
田北高校を2016
年度から募集停止
し、廃校とする方針
案を決定、11月に最
終決定するとしまし

た。9月13日には、
「学ぶ権利」を守
れ!」と、高校つづ
しに反対する学習決
起集会(写真)が行
われました。9月23
日には「咲洲高校を
守る会」結成集会が
行われ、撤回を求め
る署名に取り組みこ
と、存続を広く呼び
掛けることを決めま
した。卒業生が、
「中学校で不登校に
なったが、咲洲高校
に入学し学校に足が
向いた。友達がで
き、3年間楽しく過
ごせた。私があるの
は咲洲高校があるか
をすすめます。

30人学級実現陳情署名(11月提出) 幼稚園民営化・学校統廃合反対

仲間が増えた!

職場での相談活動で2人加入 教研集会に誘いかけを

小学校分会の組合員が相談に乗るなかで、「困っている時に組合に入るのも一つの選択」と、悩んでいる人に働きかけ、加入してくれることになりました。さらに、同じ分会でもう一人、その人が入るならと、加入してくれました。同じ職場で困っている人がいたら、「力になるよ」と、言ってくれる人がいるって素敵ですね。そんな市教の仲間が、人を惹き付けていることに元気をもらいました。これから教研の季節がやってきます。「一緒に行こう」と、職場の青年や、支部の仲間を誘いかけてください。学んで、繋がって、やっぱり市教いいな、ってみんなで思いを確かめ合えるように、参加の輪をひろげましょう。